

# こんぴらだより



vol.55 2020

グループホーム こんぴら

## 行事報告

サンライズ こんぴら

## 行事報告

## 名所めぐり

## 利口げな話

特集:「へえ〜っ、そうなんだ!?  
〜昔の人はすごい!!〜」 第49回

## 編集後記

## 関連機関



KEIRYOKAI  
produced by  
医療法人 圭良会

### 特集

へえ〜っ、そうなんだ!?  
〜昔の人はすごい!!〜

第49回



### ！カーテンはほこりを取り、水につけてから洗濯

カーテンは、はずしたらすぐに洗剤液に浸してしまう人がいますが、これはおすすめできません。まず、はずしたカーテンのほこりを掃除機で吸い取り、水に15分ほど漬けて十分に汚れを浮かせてから押し洗いしましょう。洗い終わったら、完全に脱水せず、生乾きの状態でレールに吊るします。こうすれば湿ったカーテンの重みで自然にシワが取れます。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)



## サンライズこんぴらの施設見学会のお知らせ

令和2年7月19日(日)にサンライズこんぴらの施設見学会と地域運営推進会議を行います。小規模多機能型居宅介護とはどんな所?他の施設とちがう所は?等色々な質問にお答えしたいと思います。ご興味のある方はお気軽にご参加下さい。

日時:令和2年7月19日(日曜日)11:00~12:00  
内容:施設内見学/サービス内容のご説明  
地域運営推進会議/1年間のまとめ・外部評価について

申し込み先:Tel 0877-58-8600 担当(樋笠・吉田)

当日七夕会を  
同時開催いたしますので  
多数のご参加  
お待ちしております。



## 編集後記

「手洗い・うがい」毎日に何回ぐらいしていますか?インフルエンザやコロナウイルスなどで今年は今まで以上に、必要性を感じて実践しているのではないのでしょうか?介護の現場では、「1ケア 1手洗い」が行われており、一つのケアを行うごとに手洗い・消毒などを行っています。自分の身を守ると共に、入居者様への感染経路にならぬようにするためです。皆さまも自分の身を守ると共に、身近な人を守るためにも、「手洗い・うがい」を是非行ってください。

グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 広報誌「こんぴらだより」第55号  
発行元:グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 編集者:こんぴらだより発行部  
住所:〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812  
ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)  
eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)  
発行年月日:令和2年4月15日



## 支援医療機関 介護保険事業所



永生病院  
〒769-0311  
仲多度郡まんのう町買田221-3  
Tel 0877-73-3300



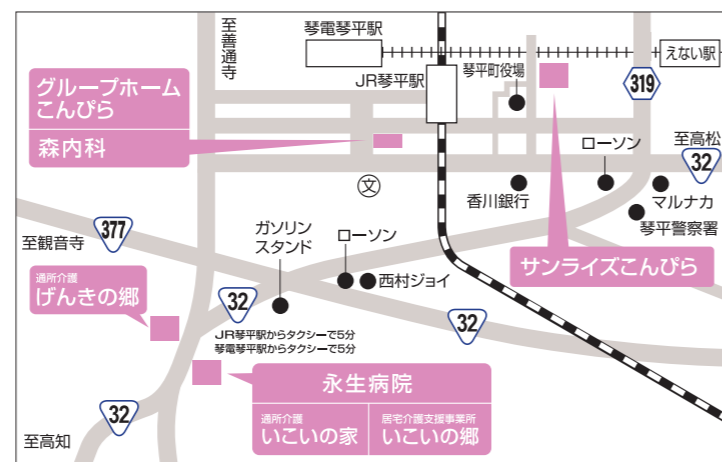
森内科(グループホーム こんぴら)  
〒766-0002 仲多度郡琴平町167  
Tel 0877-73-4188

グループホーム こんぴら  
Tel 0877-73-0811



サンライズ こんぴら  
(小規模多機能型居宅介護)  
〒766-0004  
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1  
Tel 0877-58-8600

- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811



# グループホームこんぴら Group Home Konpira

## ●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

## ●基本方針

1. 家庭的で安全な療養環境を提供します
2. 24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
3. 自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個別性のある介護支援を行います



### ～節分～

グループホームでは2月3日の節分に、丸めた新聞紙を豆の代わりにして、鬼の面をかぶった職員相手に豆まきを行いました。始めは新聞紙の豆に戸惑いも見られましたが、しばらくすると「鬼は外、福は内」と元気に声を出し、「うまく当たったわー」と楽しそうな笑い声が聞かれていました。

### ～雛祭り～

3月3日の雛祭りにあわせてグループホームでは雛人形を飾りました。飾りつけの際には職員が分からないところを「その人形はそこやな」「少しずれとるわ」等、入居者様に教えて頂きながらきれいに飾ることが出来ました。飾り終えた雛人形を見て「きれいやな」「私の家にも昔飾ってたわ」等昔のことを思い出し会話が弾んでいました。



## 取り組み 出張カット

グループホームでは、できるだけ入居者様の馴染みの美容室へ行き、散髪を行うようにしています。しかし、入居者様の状態等により美容室まで行くことが難しい場合には、馴染みの美容室の方がホームまで出張カットに来てくれています。入居者様は散髪の間、美容師さんとの会話を楽しまれ、散髪後には鏡を見てニコニコとされています。馴染みの美容師さんに散髪をしてもらうことで気分転換にもなっているようです。後日、家族様が面会に来られた時には散髪された姿を見て、「その髪の長さがスッキリしてええなー」と声をかけられており、入居者様・ご家族ともに好評です。



# サンライズこんぴら Sunrise Konpira

## ●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

## ●基本方針

1. 通い泊まり・訪問のサービスを、随時組み合わせ合わせた介護支援を行います
2. 地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性を尊重した支援を行います
3. 365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

### ～こんぴら健康応援隊～

令和2年2月20日(木)にこんぴら健康応援隊がサンライズにやってきました。

こんぴら健康応援隊とは琴平町地域住民課の保健師さんと地域住民と一緒に体操やストレッチを通して健康増進を図っていく活動です。

体操は、「大きな栗の木の下で」を歌いながら皆と一緒に笑顔で行うというものでした。笑顔で体操を行う事で健康が促進され、元気に過ごす事ができると実感しました。

今後も定期的に参加させていただき、地域の方々との関係を大切に楽しみながら体操を行っていきたく思います。



### 名所めぐり ～琴平町 高燈籠～

琴電琴平駅の横にある高燈籠は、1865年(慶応元年)に完成した、高さ27メートルの日本一高い灯籠で、国の重要有形民俗文化財に指定されています。瀬戸内海を航海する船の指標として建てられ、船人がこんぴらさんを拝む目標灯となっていました。

丸亀沖からでも見えるようにと作られたそうです。150年以上たった今でもその姿は当時と変わる事なく堂々と優美にそびえています。

また、敷地内にはすべり台や鉄棒、ブランコ、ジャングルジムなどの遊具もあります。

春先になると桜が開き、琴電の電車と桜の風景を撮りに来る人でにぎわう、ちょっとしたフォトスポットになるので、是非立ち寄ってみてください。



## 利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。



### 第28回 家庭で認知症かどうかをチェックするポイント

年齢を重ねると、物忘れがひどくなったり、それまでできていたことができなくなったりというのは当然出てきます。はたしてそれが「認知症」なのか、それとも「老化現象」なのかは、本人はもちろん家族にも区別が付きにくいものです。そこで認知症かどうかをチェックするポイントや簡易診断の方法を紹介したいと思います。

#### ①もの忘れがひどい

- ・ 切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ・ 同じことを何度も言う・問う・する
- ・ しまい忘れや置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ・ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



#### ②判断・理解力が衰える

- ・ 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ・ 新しいことが覚えられない
- ・ 話のつじつまが合わない
- ・ テレビ番組の内容が理解できなくなった

#### ③時間・場所がわからない

- ・ 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ・ 慣れた道でも迷うことがある

#### ④人柄が変わる

- ・ 些細なことで怒りっぽくなった
- ・ 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ・ 自分の失敗を人のせいにする
- ・ 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われる

#### ⑤不安感が強い

- ・ ひとりになると怖がりたり寂しがったりする
- ・ 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ・ 「頭が変になった」と本人が訴える

#### ⑥意欲がなくなる

- ・ 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ・ 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ・ ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる



いくつか思い当たるようでしたら、念のため専門医に相談をしてみましょう。

(参考HP: 安心介護 <https://ansinkaigo.jp/knowledge/3099>)